



2021年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）舟竹 泰昭
 問合せ先責任者（役職名）専務執行役員企画部長（氏名）河田 久尚（TEL）03-3211-3041
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト、機関投資家向け）

（表示単位未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	68,309	△8.3	18,792	△6.7	14,237	9.1
2020年3月期中間期	74,509	1.4	20,145	△2.7	13,047	—

(注) 包括利益 2021年3月期中間期 13,779百万円(5.5%) 2020年3月期中間期 13,050百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期中間期	12.08	12.08
2020年3月期中間期	11.01	11.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	1,143,818	229,337	19.9
2020年3月期	1,085,885	222,833	20.3

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 227,835百万円 2020年3月期 221,212百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2021年3月期	—	5.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,200	△9.6	32,800	△17.6	23,000	△12.0	19.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期中間期	1,179,308,000株	2020年3月期	1,179,129,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期中間期	3,587,793株	2020年3月期	798,656株
③ 期中平均株式数（中間期）	2021年3月期中間期	1,177,785,856株	2020年3月期中間期	1,184,883,835株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

(個別業績の概要)

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	55,178	△8.3	17,811	△23.2	12,322	△13.7
2020年3月期中間期	60,204	△0.3	23,218	1.7	14,291	—
	1株当たり 中間純利益					
	円 銭					
2021年3月期中間期	10.46					
2020年3月期中間期	12.06					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	1,146,555	234,454	20.4
2020年3月期	1,091,287	229,866	21.0

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 234,454百万円 2020年3月期 229,591百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	109,800	△8.7	32,400	△28.0	22,400	△19.0	19.03

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
3. 中間財務諸表	11
(1) 中間貸借対照表	11
(2) 中間損益計算書	12
(3) 中間株主資本等変動計算書	13

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
説明会の音声については、開催後当社Webサイトに掲載する予定です。

2020年11月9日（月） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・当期間の経営成績

当中間期におけるわが国の景気は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に対応する緊急事態宣言が2020年5月に解除されて以降、徐々に経済活動が再開し、緩和的な金融環境や政府の経済対策効果等もあり、ひと頃の緊張は脱したものの、期間を通じきわめて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、お客さま、お取引先さま、従業員の安全確保を最優先に、「安心・安全」なATMサービスを提供し続ける社会インフラとしての使命に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や商業施設等の休業・営業時間短縮、生活様式の急激な変化等によりATM利用件数が減少したことを主因に当中間期の当社連結業績は、経常収益68,309百万円、経常利益18,792百万円、親会社株主に帰属する中間純利益14,237百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益55,178百万円、経常利益17,811百万円、中間純利益12,322百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比
経常収益	74,509	68,309	8.3%減
経常利益	20,145	18,792	6.7%減
親会社株主に帰属する 中間純利益	13,047	14,237	9.1%増

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

①国内事業セグメント

・ATMプラットフォーム事業

当中間期は、新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい状況からは回復基調にあるものの、ATM総利用件数は前年同期を下回り推移いたしました。しかしながら、当社ATMを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数は、2020年6月末の「キャッシュレス・消費者還元事業」終了以降も堅調に推移いたしました。また、総務省が実施するマイナポイント事業において、申込支援端末を提供する民間事業者として採択され、2020年8月より、当社ATMにてマイナポイントの申込みを開始いたしました。

2020年9月末現在のATM設置台数は25,382台（2019年9月末比0.1%増）、当中間期のATM1日1台当たり平均利用件数は87.6件（前年同期比3.2%減）、ATM総利用件数は403百万件（同3.3%減）となりました。なお、2020年9月末現在の提携金融機関等は614社（注）、2019年9月より入替設置を開始した第4世代ATMの設置台数は、2020年9月末時点で3,118台となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、先行き不透明な事業環境が予想されますが、引続き従来の概念に捉われないATMの価値創造を通じ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したATMプラットフォーム事業を推進してまいります。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2020年3月期		2021年3月期	
	中間 連結会計期間	通期	中間 連結会計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	90.5件	92.1件	87.6件	87.5件
■ATM期間総利用件数	417百万件	849百万件	403百万件	807百万件
■ATM台数	25,342台	25,215台	25,382台	25,515台

・決済口座事業

2020年4月に、スマートフォンアプリ「Myセブン銀行」にて、オンラインでの本人確認に対応し最短10分で口座開設ができる即時口座開設サービスを開始いたしました。

2020年9月末現在、個人のお客さまの預金口座数は2,255千口座（2019年9月末比8.0%増）、個人向け預金残高は4,993億円（同12.3%増）、個人向けローンサービスの残高は228億円（同0.5%減）となりました。

また、当社は、社会の変化に伴い顕在化しつつある課題解決への貢献をビジネス機会と捉え、「個人」「居住外国人」「BPO」「セキュリティ」「法人」を5つの重点領域として、これまで培ったノウハウに加え、外部企業とも連携し、さまざまなお客さまのニーズに応じた新たな金融サービスを提供することを目指してまいります。

	2020年3月期		2021年3月期	
	中間 連結会計期間	通期	中間 連結会計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,087千口座	2,179千口座	2,255千口座	2,400千口座
■個人預金残高	4,443億円	4,586億円	4,993億円	4,975億円
うち普通預金残高	3,052億円	3,245億円	3,632億円	—
うち定期預金残高	1,390億円	1,340億円	1,361億円	—
■個人向けローン残高	229億円	232億円	228億円	260億円

②海外事業セグメント

・米国

当社連結子会社のFCTI, Inc. は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020年3月よりATM利用件数に減少がみられましたが、2020年5月以降、経済活動再開や失業保険給付のATMでの受取り等の動きもあり、足許でのATM平均利用件数は前年同期を上回る水準にまで回復し推移しております。米国セブン-イレブン店舗以外に設置している低採算ATMを計画的に整理し、2020年6月末時点でATM設置台数は10,663台（2019年6月末比12.3%減）、うち米国セブン-イレブン店舗内設置ATMは8,494台となりました。

また、FCTI, Inc. の連結対象期間（2020年1～6月）の業績は、低採算ATMの計画的な整理、政策金利の引下げによる資金調達費用の低下等により経常収益117.0百万米ドル、経常利益13.5百万米ドル、中間純利益13.4百万米ドルとなりました。

・アジア

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、堅調に事業を推進し、2020年6月末時点のATM設置台数は350台（2019年6月末比233.3%増）と大幅に増加しています。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は、フィリピン国内での新型コロナウイルス感染症の拡大等の事業環境の変化を踏まえ、事業展開について慎重に検討しております。

（2）財政状態に関する定性的情報

総資産は、1,143,818百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が894,048百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が77,048百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が84,249百万円となっております。

負債は、914,481百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は737,894百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は363,204百万円、定期預金残高は136,170百万円となっております。

純資産は、229,337百万円となりました。このうち利益剰余金は163,512百万円となっております。

（財政状態）

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当中間連結会計期間	増減
総資産	1,085,885	1,143,818	57,933
負債	863,051	914,481	51,429
純資産	222,833	229,337	6,503

（3）業績予想に関する定性的情報

現時点では2020年8月7日発表の業績予想に変更はありません。

徐々に経済活動が再開していく一方で、新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大に対する懸念も残存しており、現時点においても経済の先行きは依然として不透明な状況となっております。今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が当社事業環境に大きな影響を与える可能性もあり、今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当中間連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金預け金	848,446	894,048
有価証券	70,911	77,048
貸出金	23,283	22,859
外国為替	0	0
A T M仮払金	81,965	84,249
その他資産	16,365	16,064
有形固定資産	13,985	15,826
無形固定資産	29,665	32,457
退職給付に係る資産	378	410
繰延税金資産	909	889
貸倒引当金	△25	△35
資産の部合計	1,085,885	1,143,818
負債の部		
預金	683,760	737,894
譲渡性預金	800	800
借用金	196	300
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	45,052	43,958
その他負債	27,288	25,318
賞与引当金	573	519
退職給付に係る負債	3	3
役員退職慰労引当金	4	5
株式給付引当金	236	567
繰延税金負債	137	113
負債の部合計	863,051	914,481
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,757	30,724
利益剰余金	155,760	163,512
自己株式	△338	△1,081
株主資本合計	216,882	223,880
その他有価証券評価差額金	499	225
為替換算調整勘定	3,767	3,674
退職給付に係る調整累計額	62	55
その他の包括利益累計額合計	4,329	3,955
新株予約権	274	—
非支配株主持分	1,346	1,501
純資産の部合計	222,833	229,337
負債及び純資産の部合計	1,085,885	1,143,818

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	74,509	68,309
資金運用収益	1,774	1,777
(うち貸出金利息)	1,717	1,718
(うち有価証券利息配当金)	12	14
役務取引等収益	72,553	65,352
(うちATM受入手数料)	68,714	61,503
その他業務収益	127	136
その他経常収益	53	1,042
経常費用	54,363	49,517
資金調達費用	355	269
(うち預金利息)	54	36
役務取引等費用	20,519	17,776
(うちATM設置支払手数料)	15,717	14,145
(うちATM支払手数料)	2,641	1,400
営業経費	30,424	31,097
その他経常費用	3,064	373
経常利益	20,145	18,792
特別利益	48	12
固定資産処分益	48	12
特別損失	42	50
固定資産処分損	42	50
税金等調整前中間純利益	20,151	18,754
法人税、住民税及び事業税	7,115	4,463
法人税等調整額	△13	121
法人税等合計	7,102	4,585
中間純利益	13,049	14,169
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	1	△68
親会社株主に帰属する中間純利益	13,047	14,237

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
中間純利益	13,049	14,169
その他の包括利益	1	△389
その他有価証券評価差額金	173	△274
為替換算調整勘定	△160	△108
退職給付に係る調整額	△11	△6
中間包括利益	13,050	13,779
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	13,076	13,863
非支配株主に係る中間包括利益	△25	△83

（3）中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,679	30,661	147,094	△352	208,083
当中間期変動額					
新株の発行	22	22			44
剰余金の配当			△7,154		△7,154
親会社株主に帰属する中間純利益			13,047		13,047
自己株式の取得				△3,857	△3,857
自己株式の処分				13	13
自己株式の消却			△3,857	3,857	—
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		73			73
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	22	95	2,034	13	2,166
当中間期末残高	30,701	30,756	149,129	△338	210,249

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	492	3,798	182	4,473	320	11	212,890
当中間期変動額							
新株の発行							44
剰余金の配当							△7,154
親会社株主に帰属する中間純利益							13,047
自己株式の取得							△3,857
自己株式の処分							13
自己株式の消却							—
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減							73
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	173	△133	△11	28	△43	316	301
当中間期変動額合計	173	△133	△11	28	△43	316	2,467
当中間期末残高	666	3,665	170	4,502	276	328	215,357

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,702	30,757	155,760	△338	216,882
当中間期変動額					
新株の発行	21	21			43
剰余金の配当			△6,485		△6,485
親会社株主に帰属する中間純利益			14,237		14,237
自己株式の取得				△770	△770
自己株式の処分				27	27
自己株式の消却					—
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		△54			△54
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	21	△33	7,752	△742	6,998
当中間期末残高	30,724	30,724	163,512	△1,081	223,880

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	499	3,767	62	4,329	274	1,346	222,833
当中間期変動額							
新株の発行							43
剰余金の配当							△6,485
親会社株主に帰属する中間純利益							14,237
自己株式の取得							△770
自己株式の処分							27
自己株式の消却							—
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減							△54
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△274	△93	△6	△374	△274	154	△494
当中間期変動額合計	△274	△93	△6	△374	△274	154	6,503
当中間期末残高	225	3,674	55	3,955	—	1,501	229,337

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

有価証券の減損要否の判断にあたり、一部の出資先についてはその事業内容を勘案したうえで新型コロナウイルス感染症の影響が当期末まで残ると仮定し、当初事業計画値に反映したうえで会計上の見積りを行っております。この結果、当中間連結会計期間において、減損は不要と判断しております。

なお、上記見積りは連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づくものの、新型コロナウイルス感染症拡大の状況やその経済への影響が変化した場合には、第3四半期以降の連結財務諸表に影響を与える場合があります。

3. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金預け金	842,606	883,378
有価証券	80,826	89,789
貸出金	23,528	23,558
外国為替	0	0
未収収益	9,191	8,391
A T M仮払金	81,885	84,100
その他資産	4,540	5,105
その他の資産	4,540	5,105
有形固定資産	11,667	13,531
無形固定資産	27,768	30,289
前払年金費用	269	310
繰延税金資産	9,053	8,144
貸倒引当金	△50	△45
資産の部合計	1,091,287	1,146,555
負債の部		
預金	686,633	741,061
譲渡性預金	800	800
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	45,052	43,958
その他負債	23,336	20,354
未払法人税等	7,813	4,860
資産除去債務	366	359
その他の負債	15,156	15,134
賞与引当金	361	358
株式給付引当金	236	567
負債の部合計	861,421	912,100
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,702	30,724
資本準備金	30,702	30,724
利益剰余金	168,025	173,861
利益準備金	0	0
その他利益剰余金	168,025	173,861
繰越利益剰余金	168,025	173,861
自己株式	△338	△1,081
株主資本合計	229,091	234,229
その他有価証券評価差額金	499	225
評価・換算差額等合計	499	225
新株予約権	274	—
純資産の部合計	229,866	234,454
負債及び純資産の部合計	1,091,287	1,146,555

（2）中間損益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当中間会計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
経常収益	60,204	55,178
資金運用収益	1,778	1,789
（うち貸出金利息）	1,723	1,732
（うち有価証券利息配当金）	12	14
役務取引等収益	58,173	52,650
（うちA T M受入手数料）	54,553	49,050
その他業務収益	142	129
その他経常収益	110	608
経常費用	36,986	37,366
資金調達費用	351	263
（うち預金利息）	54	36
役務取引等費用	10,147	9,900
（うちA T M設置支払手数料）	7,940	7,842
（うちA T M支払手数料）	514	271
営業経費	26,431	27,137
その他経常費用	55	64
経常利益	23,218	17,811
特別損失	2,619	39
固定資産処分損	29	39
関係会社株式評価損	2,590	—
税引前中間純利益	20,599	17,772
法人税、住民税及び事業税	7,083	4,420
法人税等調整額	△775	1,030
法人税等合計	6,307	5,450
中間純利益	14,291	12,322

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,679	30,679	30,679	0	157,847	157,847	△352	218,854	
当中間期変動額									
新株の発行	22	22	22					44	
剰余金の配当					△7,154	△7,154		△7,154	
中間純利益					14,291	14,291		14,291	
自己株式の取得							△3,857	△3,857	
自己株式の処分							13	13	
自己株式の消却					△3,857	△3,857	3,857	—	
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)									
当中間期変動額合計	22	22	22	—	3,278	3,278	13	3,336	
当中間期末残高	30,701	30,701	30,701	0	161,126	161,126	△338	222,190	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	492	492	320	219,667
当中間期変動額				
新株の発行				44
剰余金の配当				△7,154
中間純利益				14,291
自己株式の取得				△3,857
自己株式の処分				13
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	173	173	△43	129
当中間期変動額合計	173	173	△43	3,466
当中間期末残高	666	666	276	223,134

当中間会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	30,702	30,702	30,702	0	168,025	168,025	△338	229,091
当中間期変動額								
新株の発行	21	21	21					43
剰余金の配当					△6,485	△6,485		△6,485
中間純利益					12,322	12,322		12,322
自己株式の取得							△770	△770
自己株式の処分							27	27
自己株式の消却								—
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)								
当中間期変動額合計	21	21	21	—	5,836	5,836	△742	5,137
当中間期末残高	30,724	30,724	30,724	0	173,861	173,861	△1,081	234,229

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	499	499	274	229,866
当中間期変動額				
新株の発行				43
剰余金の配当				△6,485
中間純利益				12,322
自己株式の取得				△770
自己株式の処分				27
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	△274	△274	△274	△549
当中間期変動額合計	△274	△274	△274	4,588
当中間期末残高	225	225	—	234,454